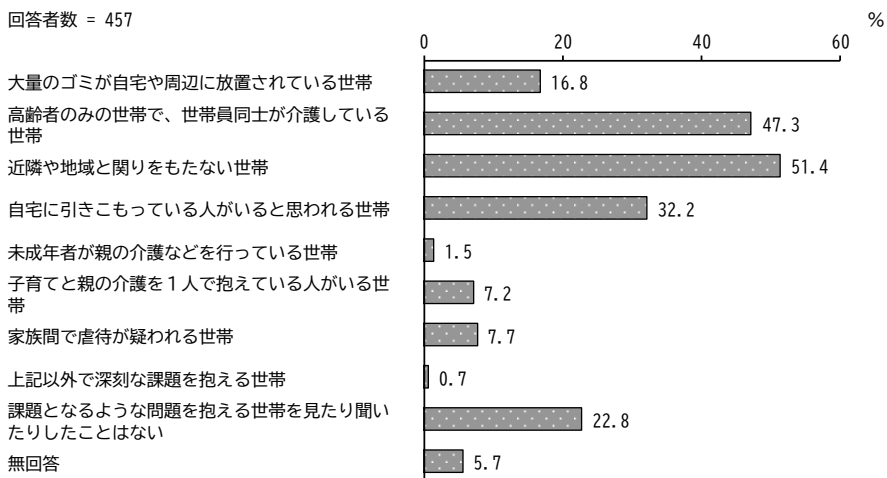


地域福祉計に関するアンケート調査結果概要（団体アンケート）

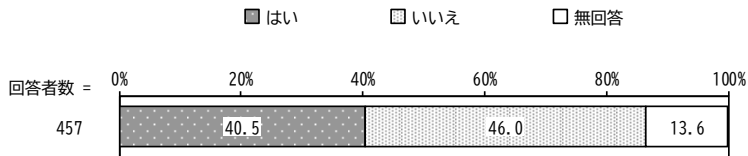
地域課題について

問 貴団体が活動されている地域において、次のような世帯を見たり聞いたりしたことがありますか。

「近隣や地域と関りをもたない世帯」が 51.4%で最も割合が高く、次いで、47.3%の「高齢者のみの世帯で、世帯員同士が介護している世帯」、32.2%の「自宅に引きこもっている人がいると思われる世帯」となっています。

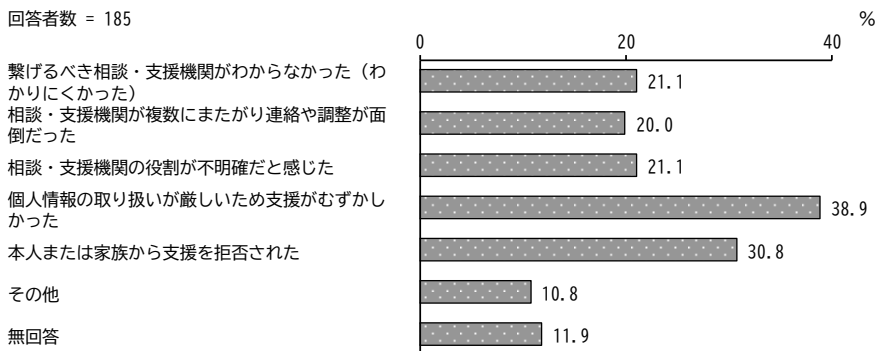


問 上記の世帯を支援した、または支援しようとしたことはありますか。「はい」の割合が 40.5%、「いいえ」の割合が 46.0%となっています。



問 支援している中で困りごとがありましたか。（上記で「はい」を選んだ団体）

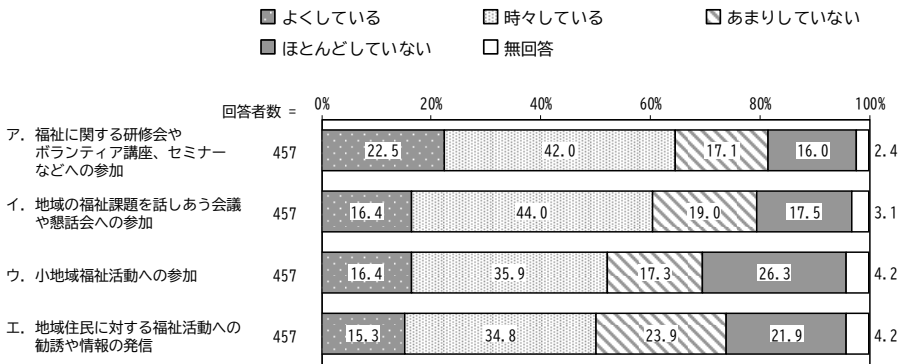
「個人情報の取り扱いが厳しいため支援がむずかしかった」が 38.9%で最も割合が高く、次いで 30.8%の「本人または家族から支援を拒否された」、21.1%の「繋げるべき相談・支援機関がわからなかった（わかりにくかった）」と「相談・支援機関が複数にまたがり連絡や調整が面倒だった」となっています。



地域福祉に関する参加状況や活動状況について

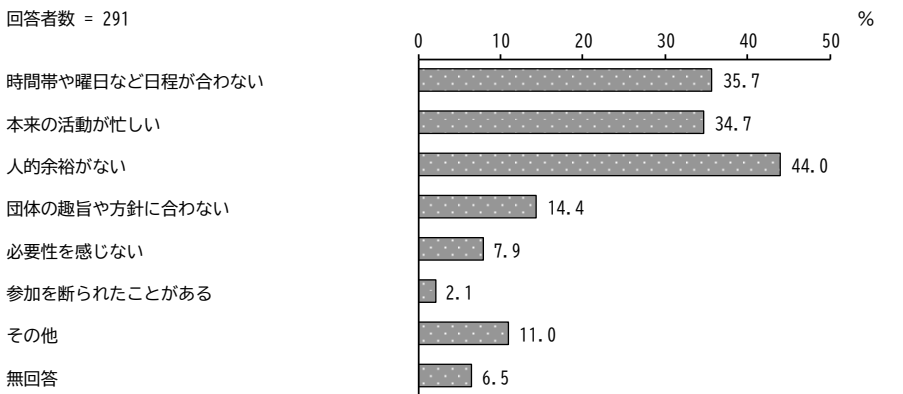
問 次の項目について、貴団体の参加状況や活動状況をおたずねします。

「よくしている」の割合が最も高いのは『ア. 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加』で 22.5%となっています。また、ア～エのいずれも、「時々している」の割合が最も高くなっています。



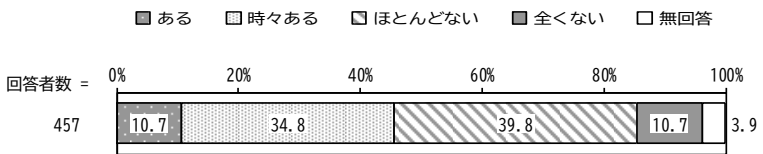
問 参加できない、しない理由をお答えください。

（上記で「あまりしていない」「ほとんどしていない」を選んだ団体）
「人的余裕がない」が 44.0%で最も割合が高く、次いで、35.7%の「時間帯や曜日など日程が合わない」、34.7%の「本来の活動が忙しい」となっています。



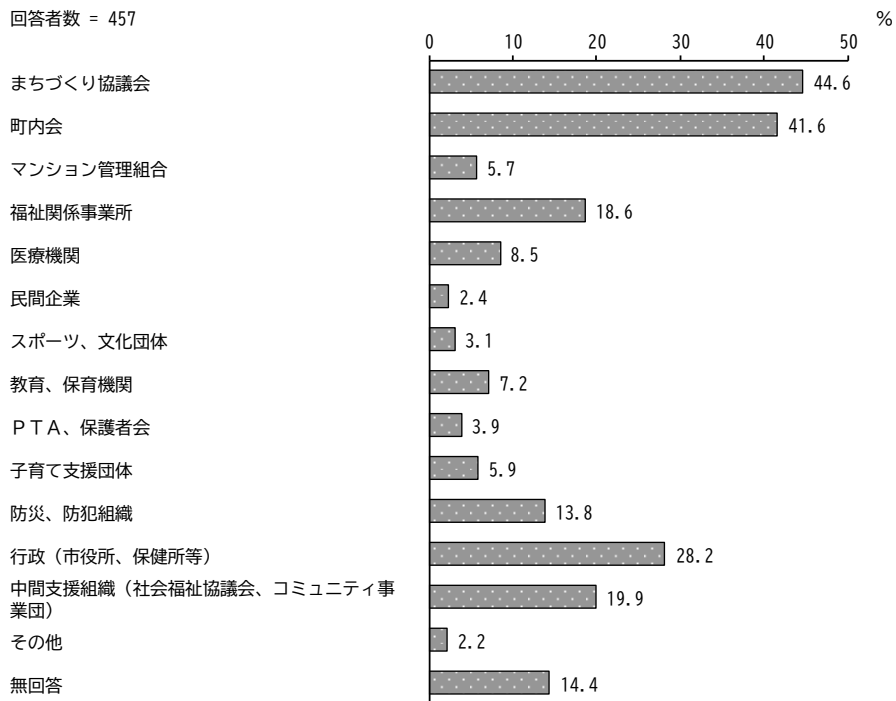
問 貴団体が地域で活動することについて、住民に理解されていないと感じることはありますか。

「ほとんどない」が 39.8%で最も割合が高く、次いで、34.8%の「時々ある」となっています。



※概要としてまとめるため、一部の設問について、調査票と異なる表現に加工しています。

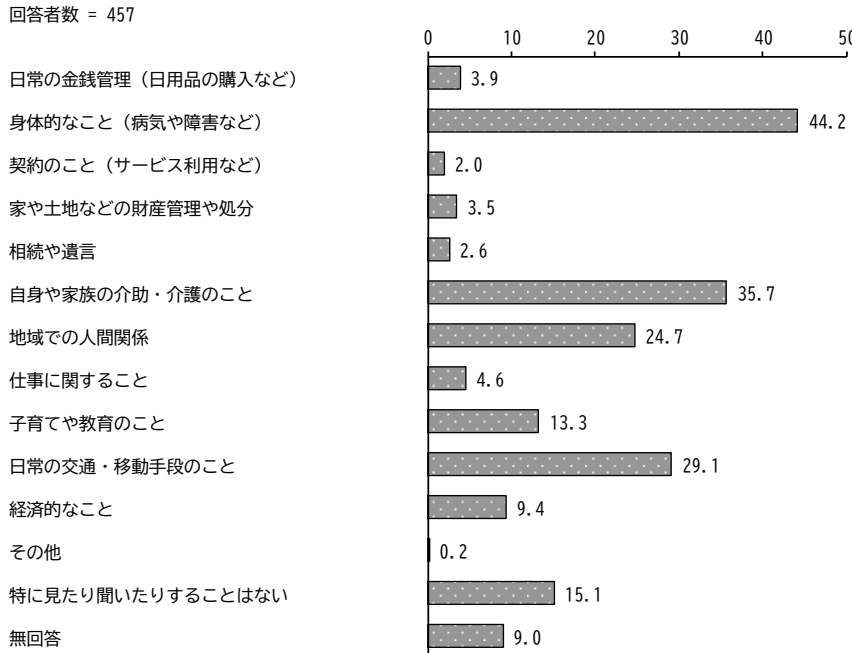
問 貴団体が今後活動するうえで特に協力・連携したい団体や組織はありますか。「まちづくり協議会」が 44.6%で最も割合が高く、次いで、41.6%の「町内会」、28.2%の「行政（市役所、保健所等）」となっています。



不安や悩みへの支援について

問 日常の活動中に、よく見聞きする住民の不安や悩みをおたずねします。

「身体的なこと（病気や障害など）」が 44.2%で最も割合が高く、次いで、35.7%の「自身や家族の介助・介護のこと」、29.1%の「日常の交通・移動手段のこと」となっています。

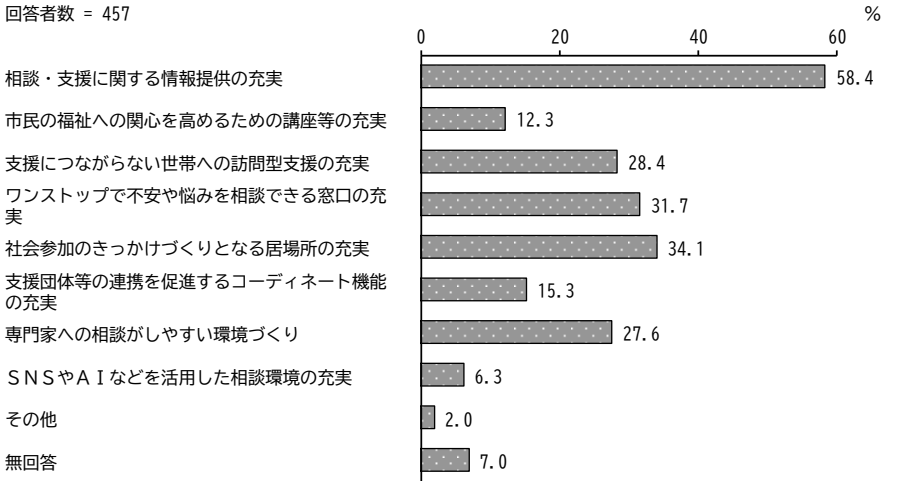


※概要としてまとめるため、一部の設問について、調査票と異なる表現に加工しています。

不安や悩みへの支援について（つづき）

問 不安や悩みを抱える方を適切な支援につなげるために、どのような取組が特に重要だと思いますか。

「相談・支援に関する情報提供の充実」が 58.4%で最も割合が高く、次いで、34.1%の「社会参加のきっかけづくりとなる居場所の充実」、31.7%の「ワンストップで不安や悩みを相談できる窓口の充実」となっています。



【活動分野別】

いずれの活動分野でも、「相談・支援に関する情報提供の充実」が最も割合が低くなっています。

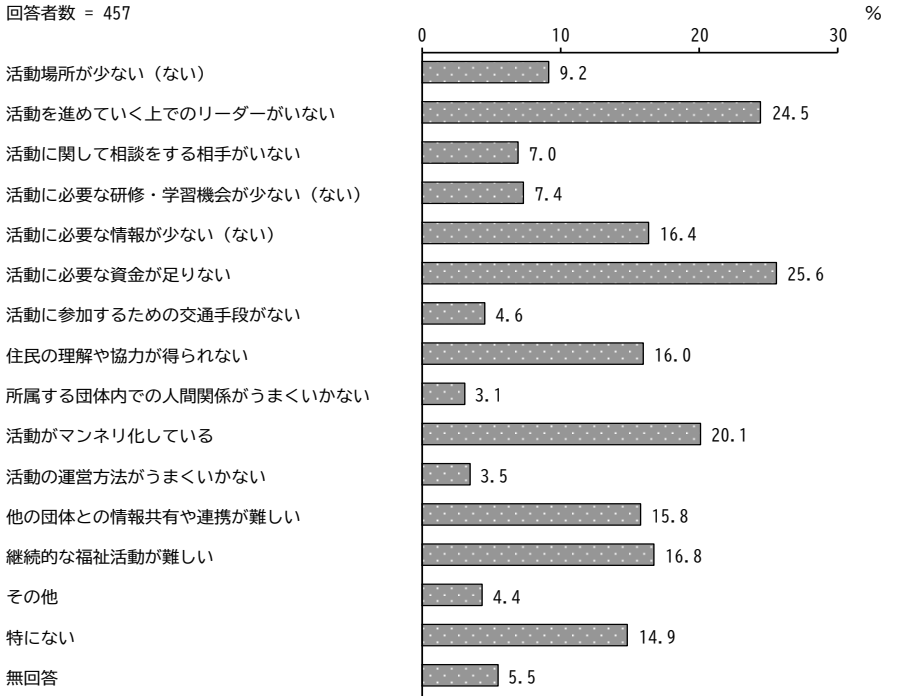
単位：％

区分	回答者数（件）	実	相談・支援に関する情報提供の充実	市民の福祉への関心を高めるための講座等の充実	型支援の充実	支援につながらない世帯への訪問型支援の充実	ワンストップで不安や悩みを相談できる窓口の充実	居場所の充実	社会参加のきっかけづくりとなる居場所の充実	ソーシャル機能の充実	支援団体等の連携を促進するコーディネート	専門家への相談がしやすい環境づくり	SNSやAIなどを活用した相談環境の充実	その他	無回答
全 体	457	58.4	12.3	28.4	31.7	34.1	15.3	27.6	6.3	2.0	7.0				
まちづくりに関する活動	207	59.9	13.0	29.0	33.3	33.8	16.9	28.5	6.3	1.9	6.3				
高齢者福祉に関する活動	262	59.9	13.4	33.6	29.0	35.1	13.4	25.6	5.3	1.5	7.6				
障害者（児）福祉に関する活動	101	66.3	12.9	36.6	45.5	37.6	13.9	27.7	7.9	2.0	4.0				
子育て支援に関する活動	133	68.4	9.8	33.8	33.1	43.6	18.8	29.3	9.8	2.3	3.8				
医療に関する活動	36	66.7	22.2	38.9	33.3	44.4	16.7	22.2	—	2.8	2.8				
社会教育・生涯学習に関する活動	77	49.4	11.7	35.1	32.5	37.7	20.8	23.4	6.5	2.6	9.1				
健康増進に関する活動	190	58.4	17.4	33.2	28.9	37.9	14.2	29.5	4.2	2.1	5.8				
災害対策・防犯に関する活動	161	59.6	11.8	36.0	32.9	26.7	13.7	27.3	6.2	3.1	6.2				
ボランティア活動	177	57.1	17.5	27.1	31.1	41.2	15.8	28.8	3.4	1.7	4.5				
その他	33	60.6	6.1	21.2	27.3	33.3	24.2	39.4	6.1	6.1	3.0				

福祉への関心や福祉活動について

問 貴団体が福祉に関する活動や仕事をするなかで、困っていることや苦勞していることがありますか。

「活動に必要な資金が足りない」が 25.6%で最も割合が高く、次いで、24.5%の「活動を進めていく上でのリーダーがいない」、20.1%の「活動がマンネリ化している」となっています。



【活動分野別】

多くの活動分野で「活動を進めていく上でのリーダーがいない」と「活動に必要な資金が足りない」の割合が高くなっています。

単位：％

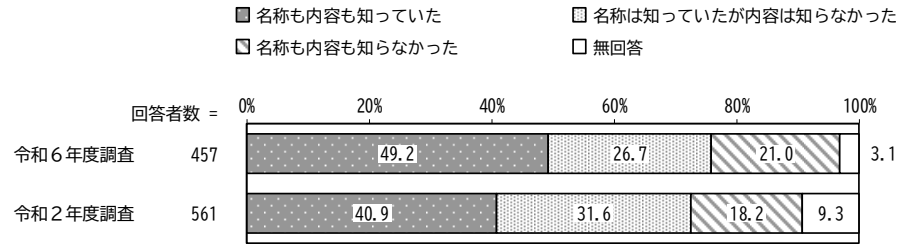
区分	回答者数（件）	い	活動場所が少ない（ない）	活動を進めていく上でのリーダーがいない	活動に関して相談をする相手がない	活動に必要な研修・学習機会が少ない（ない）	活動に必要な情報が少ない（ない）	活動に必要な資金が足りない	活動に参加するための交通手段がない	住民の理解や協力が得られない
全 体	457	9.2	24.5	7.0	7.4	16.4	25.6	4.6	16.0	
まちづくりに関する活動	207	6.8	35.3	6.8	8.2	18.8	28.0	2.9	23.2	
高齢者福祉に関する活動	262	5.0	26.7	6.1	7.6	16.0	23.7	5.7	17.6	
障害者（児）福祉に関する活動	101	12.9	20.8	6.9	6.9	16.8	31.7	2.0	22.8	
子育て支援に関する活動	133	12.8	26.3	6.0	8.3	21.1	26.3	3.0	22.6	
医療に関する活動	36	—	33.3	5.6	2.8	11.1	16.7	5.6	19.4	
社会教育・生涯学習に関する活動	77	9.1	26.0	5.2	7.8	20.8	31.2	2.6	26.0	
健康増進に関する活動	190	4.2	30.0	6.8	7.9	12.6	24.7	6.8	16.3	
災害対策・防犯に関する活動	161	6.8	36.6	6.8	10.6	22.4	25.5	1.9	26.1	
ボランティア活動	177	10.2	28.2	4.5	10.7	18.6	26.6	5.1	19.8	
その他	33	9.1	24.2	6.1	—	18.2	27.3	6.1	15.2	

（※一部抜粋）

地域福祉に関するしくみや制度について

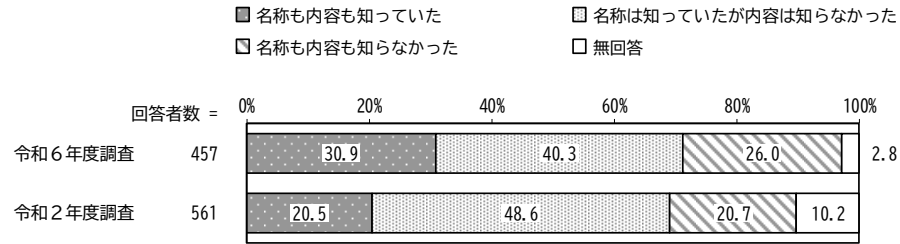
問 「地域包括ケアシステム」について、知っていましたか。

「名称も内容も知っていた」が 49.2%で最も割合が高く、次いで、26.7%の「名称は知っていたが内容は知らなかった」、21.0%の「名称も内容も知らなかった」となっています。なお、令和2年度調査と比較すると、「名称も内容も知っていた」の割合が増加しています。



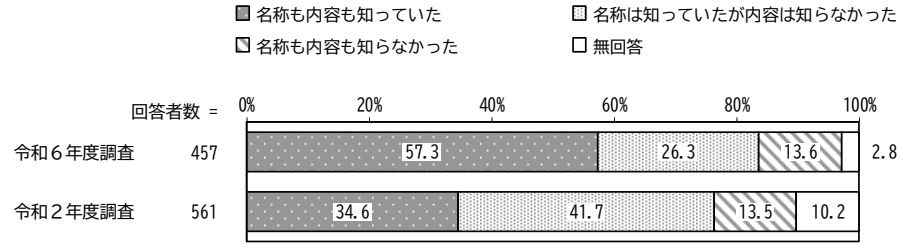
問 「生活困窮者自立支援制度」について、知っていましたか。

「名称は知っていたが内容は知らなかった」が 40.3%で最も割合が高く、次いで、30.9%の「名称も内容も知っていた」、26.0%の「名称も内容も知らなかった」となっています。なお、令和2年度調査と比較すると、「名称も内容も知っていた」の割合が増加しています。一方、「名称も内容も知らなかった」の割合も増加しています。



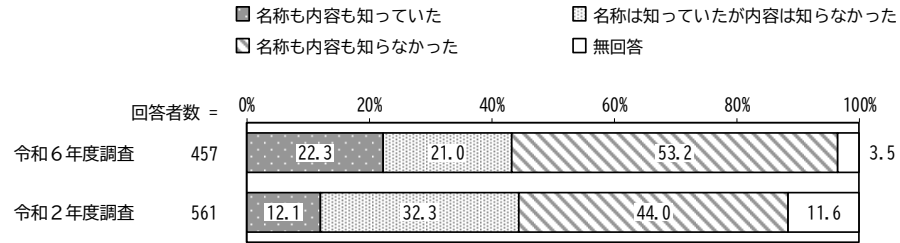
問 「成年後見制度」について、知っていましたか。

「名称も内容も知っていた」が 57.3%で最も割合が高く、次いで、26.3%の「名称は知っていたが内容は知らなかった」、13.6%の「名称も内容も知らなかった」となっています。なお、令和2年度調査と比較すると、「名称も内容も知っていた」の割合が増加しています。



問 「社会を明るくする運動」について、知っていましたか。

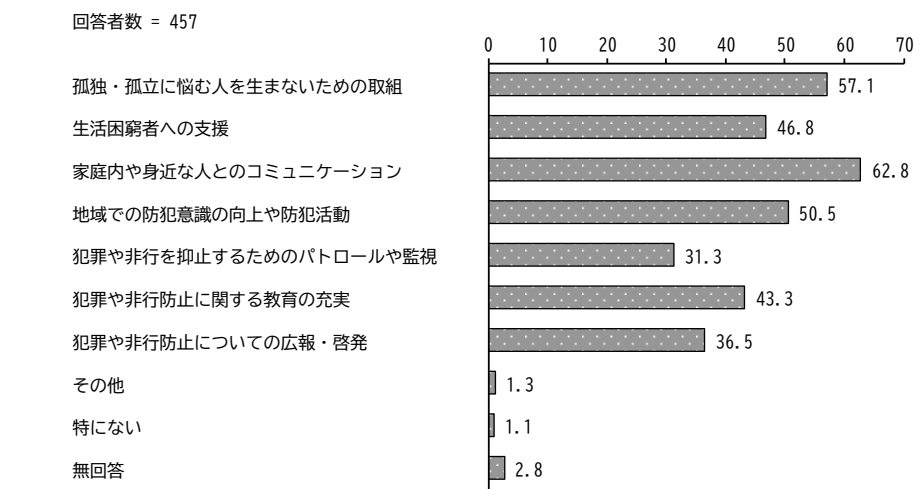
「名称も内容も知らなかった」が 53.2%で最も割合が高く、次いで、22.3%の「名称も内容も知っていた」、21.0%の「名称は知っていたが内容は知らなかった」となっています。なお、令和2年度調査と比較すると、「名称も内容も知っていた」の割合が増加しています。一方、「名称も内容も知らなかった」の割合も増加しています。



地域福祉に関するしくみや制度について（つづき）

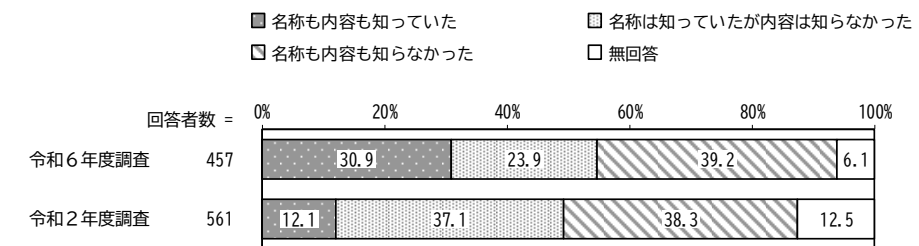
問 犯罪や非行を防止するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

「家庭内や身近な人とのコミュニケーション」が 62.8%で最も割合が高く、次いで、57.1%の「孤独・孤立に悩む人を生まないための取組」、50.5%の「地域での防犯意識の向上や防犯活動」となっています。



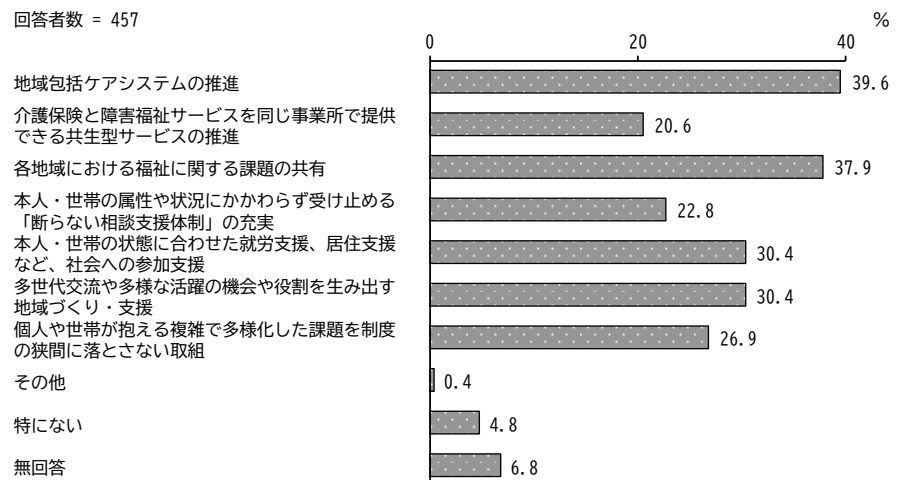
問 「地域共生社会」について、知っていましたか。

「名称も内容も知らなかった」が 39.2%で最も割合が高く、次いで、30.9%の「名称も内容も知っていた」、23.9%の「名称は知っていたが内容は知らなかった」となっています。なお、令和2年度調査と比較すると、「名称も内容も知っていた」の割合が増加しています。



問 「地域共生社会」の実現に向けて、地域の様々な団体の連携をさらに深めたり活発にするためにはどのような取組が必要だと思いますか。

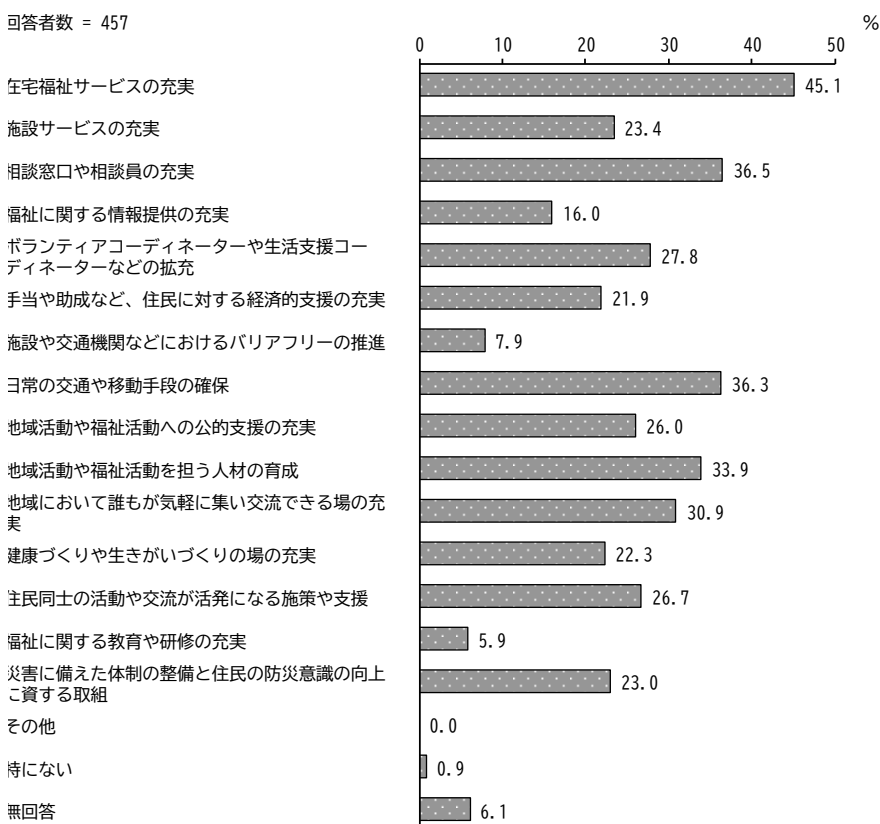
「地域包括ケアシステムの推進」が 39.6%で最も割合が高く、次いで、37.9%の「各地域における福祉に関する課題の共有」、30.4%の「本人・世帯の状態に合わせた就労支援、居住支援など、社会への参加支援」と「多世代交流や多様な活躍の機会や役割を生み出す地域づくり・支援」となっています。



地域福祉に関する施策全般について

問 みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを実現するためにはどのような施策や取組が必要だと思いますか。

「在宅福祉サービスの充実」が 45.1%で最も割合が高く、次いで、36.5%の「相談窓口や相談員の充実」、36.3%の「日常の交通や移動手段の確保」となっています。



団体アンケート調査結果を受けての総括

〇地域課題について

各団体が活動する中で、課題を有する世帯への支援が一定行われているが、個人情報の取り扱いや、本人・家族からの支援の拒否などにより円滑に進まないケースもあることから、支援団体と行政・専門機関(職)とが連携して取り組む体制を構築する必要がある。

〇地域福祉に関する参加状況や活動状況について

研修会や講座、地域で行われる懇話会や福祉活動への参加を推進するためには、各団体の人員体制に応じた参加人数や頻度、また、開催日時などについて、主催する側の配慮が必要である。また、各団体の活動への住民の理解を深めるための取組が必要である。

〇不安や悩みへの支援について

住民の不安や悩みを支援につなげるためには、相談窓口や福祉サービスなどの情報発信が重要であるが、より支援の幅を広げるためには、個人への発信に加え、団体間や行政と各団体との情報共有を進める必要がある。

〇福祉への関心や福祉活動について

活動を進めて行く上でのリーダーをはじめ、各団体の担い手不足は深刻な問題である。地域福祉を進めるためには、福祉関係団体やまちづくり関係団体の活動は欠かせないことから、担い手の発掘や育成を支援する取組が必要である。

〇地域福祉に関するしくみや制度について

「地域包括ケアシステム」をはじめ、地域福祉に関するしくみや制度の認知度は、令和2年度の調査に比べいずれも上昇しているが、まだまだ認知度が高いと言える状況ではないことから、引き続き周知啓発に努めるとともに、各団体との情報共有に努める必要がある。

〇地域福祉に関する施策全般について

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを実現するためには、住民相互の助け合い・支え合いが重要であるが、そうした地域の活動を支えるためには、在宅サービスをはじめとした公的制度やサービスの充実と、複雑・多様化する福祉的課題に対応するための相談体制の強化が必要である。